

修了評価の方法

評価基準作成者：岡本和弘

評価方法及び合格基準	<ol style="list-style-type: none">1 出題範囲 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) ところとからだのしくみと生活支援技術」までとする。2 出題形式 五肢択一式問題、正誤問題、記述問題形式とする。3 出題数 100点満点とする ・五肢択一式問題 25問(50点) ・正誤問題 25問(50点) ・記述問題 2問(20点)4 合否判定基準 60点以上で合格とする。5 不合格になったときの取扱い 予備日を設定し担当講師による補習のうえ、再試験を実施する。 再試験は最大3回までとし、最終評価結果が不合格となった場合は未修了扱いとなるので注意すること。 なお、補習料・再試験料は無料とする。
------------	--